

# 知的財産に関する主な施策の概要

平成19年12月13日(木)

文部科学省

# 文化審議会著作権分科会における審議の状況

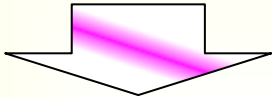
## 私的録音録画補償金制度の見直し(中間整理)

一定の結論ではなく、これまでの議論における対応策の基本的考え方、委員間の合意の形成とその論点をまとめたもの。

### 私的録音録画補償金制度について

録音録画機器等の開発・普及により、権利者の経済的利益が不当に害されていることから、デジタル録音録画機器等から補償金を徴収する制度を導入(平成4年)。

新たな録音録画機器等の普及、著作権保護技術の発達等、制度導入から現在までの環境変化を踏まえ、抜本的に見直し。



### 私的使用目的の複製(著作権法第30条)の範囲の見直し

違法複製物等からの私的録音録画について、第30条から除外する方向の意見が大勢。(利用者保護の観点から一部反対意見あり)

適法配信事業者から入手した著作物等からの私的録音録画について、第30条から除外する方向の意見が大勢。

### 補償金対象機器等の範囲の見直し

#### (仮に補償の必要性があった場合)

録音録画機能が附属機能でなく記録媒体を内蔵した機器については対象にすべきとする意見が大勢。

### 補償金管理団体の見直し

補償金を徴収・分配する補償金管理団体を録音分野と録画分野で一つに統合

等

## 海賊版の拡大防止のための措置

海賊版譲渡告知行為の取締り

海賊版と知りながらその販売のための告知を行うことを、著作権侵害とみなすことが適当。

非親告罪化

非親告罪化の一律導入については不適当。

## 権利制限の見直し

以下のことを著作権者の許諾なく行えることとする。

障害者のための録音図書作成の範囲拡大、字幕入り映像の作成等

インターネット等で美術品等を販売する際の商品画像の掲載  
薬事法に基づき、製薬企業等から医療機関に文献を提供すること

## 検索エンジンの法制上の課題

検索エンジンサービスが日本国内で安定的に運営できるよう、必要な法的措置を講ずることが適当。

## その他の課題

デジタルコンテンツ流通促進法制

録音録画以外の私的使用目的の複製の見直し

著作権等の保護期間の延長の是非

著作者が不明の場合等の利用円滑化方策

アーカイブ事業の円滑化方策

等

# 産学官連携戦略展開事業

〔平成20年度要求額 : 4,839百万円(新規)〕

産学官連携活動が失速することなく、知的財産戦略などが持続的に展開されるよう主体的かつ多様な特色ある取組を国公立大学を通じて支援し、知財活動をはじめとする産学官連携活動全体の質の向上を図る。

## 【戦略展開プログラム】

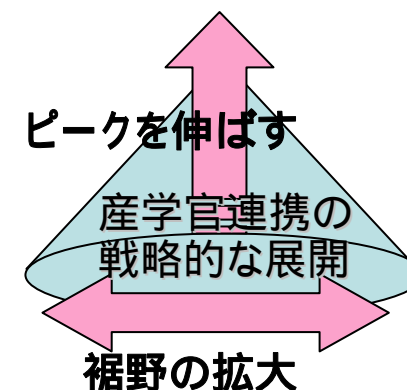
国際的な基本特許の権利取得などを図る国際的な産学官連携体制の強化や国公立大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築など、大学等の活動としては実施のリスクが高く、かつ、国として政策的観点から積極的に促進すべき活動を重点的に支援する。

### (1) 先進的な知財戦略の展開

- ・国際的な基本特許の権利取得など国際的な産学官連携の推進
  - ・特色ある産学官連携の推進
    - 事業化支援体制の強化
    - ライフサイエンス分野等の分野別産学官連携活動の深化
    - 大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築 等
- 上記に併せて、若手知財専門人材の育成の強化を図る

### (2) 脆弱な大学等の基盤整備

- ・知的財産基盤が脆弱な大学等の知的財産活動(人文社会系を含む)の強化



## 【コーディネートプログラム】

大学等において産学官連携を推進する際に必要不可欠な知識や実務経験を有した文部科学省産学官連携コーディネーターを大学等のニーズに応じて配置し、大学等から産業界、地域社会に対し知識の移転、研究成果の社会還元を果たす。

- ・「地域の知の拠点再生担当」の重点配置(地域イノベーションの強化)
- ・イノベーション創出に向けた「目利き・制度間つなぎ担当」の重点配置

# 地域イノベーション・システムの強化

平成20年度概算要求額: 32,646 百万円  
 (平成19年度予算額): 25,271 百万円  
 運営費交付金中の推計額を含む

## 背景

- ・国際競争力・生産性向上の源泉となる科学技術の高度化・多様化
- ・イノベーションの連鎖的創出
- ・科学技術駆動型の地域経済活性化の実現
- ・研究成果の社会還元を通じた地域住民の質の高い安全・安心な生活の実現
- ・魅力ある地域経済社会の形成

## 目指すべき方向性

### イノベーションを生み続ける地域の創出

【第3期科学技術基本計画】  
 「地域イノベーション・システムの構築と活力ある地域づくり」

地域クラスターの育成  
 地域イノベーションの源泉の潤沢化

## 政策目標・文部科学省の施策

### 地域のイニシアティブによるクラスター形成活動への支援

地域の自立化を促進しつつ、産業クラスター計画等と連携し、世界レベルのクラスター形成を強力に推進



知的クラスター創成事業  
 第 期: 17億円(34億円)  
 第 期: 100億円(55億円)

日本各地に、小規模でも地場産業等の地域の特色を活かした強みを持つクラスター形成を推進



都市エリア産学官連携促進事業  
 51億円(45億円)

### 地域の研究開発への個別的支援

地域に密着したコーディネート活動を展開し、シーズの発掘から実用化に向けた研究開発まで切れ目なく支援



地域イノベーション創出総合支援事業 (JST)  
 144億円(94億円)

# メディア芸術振興総合プログラム

## メディア芸術の人材育成と国際拠点形成を推進する

**創造的人材の育成** 要求額63百万円【12百万円】

**若手クリエイター創作支援事業**【12百万円】  
将来有望な若手クリエイターを発掘し、作品制作を支援することにより人材を育成する。

**国際コラボレーション事業**【51百万円】(新規)  
国内外の学生、新進クリエイター等によるメディア芸術作品の国際共同制作の機会を提供する。

平成19年度予算額 439百万円  
平成20年度要求額 857百万円

**推進拠点とネットワークの形成**  
要求額127百万円【15百万円】

**メディア芸術ラボラトリー支援事業**

【15百万円】  
国内各地のメディア芸術拠点のラボラトリー(工房)等を利用して行う共同研究、創造活動、人材育成に関する事業を支援する。

**メディア芸術作品展示支援事業**  
【102百万円】(新規)

各地の美術館で企画するメディア芸術作品の展覧会に対して支援する。

**メディア芸術の国際的な拠点形成のための調査研究**  
【10百万円】(新規)

若手クリエイターの創作環境を支援するとともに、我が国のメディア芸術を海外に発信する国際的な拠点を形成するための方策について調査研究を実施する。

**メディア芸術の総合的発信**  
要求額667百万円【412百万円】

**文化庁メディア芸術祭**【335百万円】  
メディア芸術の総合的祭典であるメディア芸術祭を通じた創作活動、国内外への発信を強化し、展示の一層の充実を図る。

**メディア芸術プラザ**【95百万円】(拡充)  
メディア芸術の動向に関する最新情報をウェブ上で提供する。

**メディア芸術海外展**  
【237百万円】(拡充)

文化庁メディア芸術祭の優秀作品を海外のメディア関連の芸術祭に出品するほか、アジア圏内(2ヶ国)において海外展を実施し、最新の我が国メディア芸術を発信する。

